

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2008-5551(P2008-5551A)
 【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報2008-001
 【出願番号】特願2007-231732(P2007-231732)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 G

H 0 4 B 7/26 1 0 7

H 0 4 L 12/56 1 0 0 D

H 0 4 L 12/28 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月9日(2008.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

W T R Uにおいて使用される方法において、

第1通信スタックにおいてハンドオーバトリガーを生成するステップと、前記第1通信スタックは第1のタイプのネットワークと通信するように構成されており、

前記第1通信スタックからインターネットネットワーク通信デバイスへ前記ハンドオーバトリガーを通信するステップと、

前記インターネットネットワーク通信デバイスから第2通信スタックへ前記ハンドオーバトリガーを通信するステップと、前記第2通信スタックは第2のタイプの第2ネットワークと通信するように構成されており、前記第2のタイプはI E E E 8 0 2 . x x 互換無線ネットワークであり、

前記第2通信スタックから第2ネットワーク上の通信機能へ前記ハンドオーバトリガーを通信するステップと、

を含む方法。

【請求項2】

前記インターネットネットワーク通信デバイスが前記第1及び第2通信スタックのレイヤーとして構成されている請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ハンドオーバトリガーに応答して、ハンドオーバを実行するために命令を前記第2ネットワークの制御機能から受信するステップをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ハンドオーバトリガーが前記第1通信スタック中の物理的レイヤー(PHY)信号処理デバイスから前記インターネットネットワーク通信デバイスへ通信される請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記ハンドオーバートリガーが前記第 1 通信スタック中の媒体アクセス制御 (MAC) レイヤー信号処理デバイスから前記インターネットワーク通信デバイスへ通信される請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 ネットワークタイプの前記タイプがセルラー、GSM、UMTS、3GPP、3GPP2、及びGPRSのいずれかである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 ネットワークが有線ネットワークである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 ネットワークが IEEE 802 x x 互換である請求